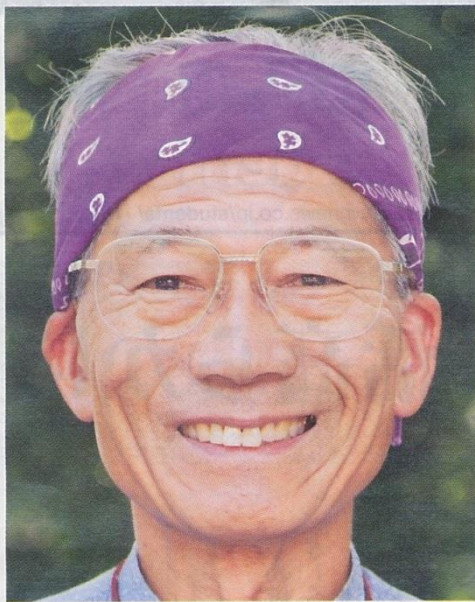


自然の声に耳傾けて

○…自然保護活動が続けられて約40年。と言っても、それが一番恐ろしい。その活動の大半は人間を相手を防ぐには、地道にやってきた啓発活動だ。「知らなくらいかな」。身近では座間に、悪意なく自然に大き

人物風土記

題字は
座間市長



●神奈川県環境保全功労者表彰で自然保護功労者に選ばれた

廣瀬 幸四郎さん

四ツ谷在住

○…大阪府出身。20歳で繊維業界に入り、服飾デザインなどを担当していた。今でも布製品にはこだわりがあり、頭のバンダナと、

○…自然保護活動が続けられて約40年。と言っても、それが一番恐ろしい。その活動の大半は人間を相手を防ぐには、地道にやってきた啓発活動だ。「知らなくらいかな」。身近では座間に、悪意なく自然に大き

○…活動のきっかけは「罪悪感」だった。遡ること半世紀。尾瀬の湿原、「アヤマドマーク」ミニ講座なんか「平」が若者たちの間で人気スポーツになった。見渡す限りの美しい湿原で解放感に浸った若者たちは、そこで踊り、寝そべり、跳ね回った。自身も仲間と訪れた尾瀬。しかし、数年後に目にしたのは、踏み荒らされたヤメ平の姿だった。悪意なく加害者になってしまったことに衝撃を受け、仕事仲間とともに尾瀬の保全活動を開始。今でも毎年5月になると、まだ雪の残る湿原へと入り9月頃まで計10回ほど足を運ぶ。

○…自然の中で目に付いた。自身も仲間と訪れた尾瀬。しかし、数年後に目にしたのは、踏み荒らされたヤメ平の姿だった。悪意なく加害者になってしまったことに衝撃を受け、仕事仲間とともに尾瀬の保全活動を開始。今でも毎年5月になると、まだ雪の残る湿原へと入り9月頃まで計10回ほど足を運ぶ。